

令和3年度 米子市社会福祉協議会事業報告書

I 総括及び重点目標の取り組み状況

＝重点目標＝

- 1 組織体制と財政基盤の強化
- 2 地域福祉事業の推進
- 3 生活支援・総合相談事業の推進

米子市社会福祉協議会では、誰もが自分らしく安心して生活を送ることができる地域社会を目指し、支え合いのまちづくりに取り組んでまいりました。

この2年間新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、日本社会も大変厳しい状況が続いています。貧困や社会的孤立が急激に拡大し、生活課題は深刻化しています。

このようななかで、収入の減少や失業された方等の相談は昨年度に引き続き増加しており、生活が困難な世帯を支援するため、生活福祉資金貸付事業や自立相談支援における相談支援を行いました。コロナ特例貸付については、臨時職員の雇用、管理職を含めた相談体制等、体制を強化し実施しました。相談ニーズは今後も増えることが想定されるため、生活にお困りの方々が、安定し自立した生活が送れるよう関係機関と連携し、引き続き相談支援に取り組んでまいります。

地域福祉事業では、コロナ禍が長期化し、地域では人と人との関りが少なくなり、高齢者や障がいのある方は、つながりが失われ孤立することが懸念されます。

また、地域活動は、制限され支え合い活動やサロン活動等も休止・縮小を余儀なくされました。地域では、電話による声掛けなど工夫を凝らしての活動を実施されました。

今後は、「With コロナ」時代に向け様々な工夫をし、地域住民やボランティアの方、地区社会福祉協議会、民生児童委員等関係機関、団体と連携し、地域の課題、ニーズに基づいた活動に取り組んでまいります。

本会の財政状況では、寄付金の減少等が続き、厳しい状況が続いています。今年度は、収益事業として実施している自動販売機の設置を進めました。

介護事業においては、地域のニーズに応え、信頼される施設を目指して運営してまいりましたが、収支を改善することができず、よどえ通所介護事業所を令和4年3月末日に事業終了いたしました。

今後、財政状況の改善に向け、事業見直しや収益事業の実施を進めるとともに、事業、取組内容の周知や広報に努めてまいります。

II 事業実施報告

1 法人運営事業

会議の開催及び参加、事業の企画立案及び実施、苦情対応と情報公開の推進等、適正な法人の運営、財政の健全化と組織の強化に努めた。

(1) 会議の開催

ア 正副会長会の開催

正副会長会を開催し、理事会、評議員会提出議案等について協議した。

イ 理事会の開催状況（4回）

開催日	内容等
令和3年6月4日	<ul style="list-style-type: none">・報告事項 会長、常務理事の業務執行状況報告・令和2年度事業報告、収支計算書、貸借対照表及び財産目録承認・理事・監事候補者選任・評議員候補者選任・定時評議員会の招集事項議決
6月23日	<ul style="list-style-type: none">・会長、副会長、常務理事の互選
10月18日	<ul style="list-style-type: none">・報告事項 会長、常務理事の業務執行状況報告・米子市社会福祉協議会長表彰候補者の決定・評議員選任・解任委員の選任
令和4年3月15日 (書面決議)	<ul style="list-style-type: none">・報告事項 社会福祉法人指導監査結果報告 包括支援課職員の出向について・令和3年度補正予算同意・令和4年度事業計画、収支予算同意・評議員会の招集事項議決

ウ 評議員会開催状況（2回）

開催日	内容等
令和3年6月23日	<ul style="list-style-type: none">・令和2年度事業報告、収支計算書、貸借対照表及び財産目録承認・理事・監事の選任議決
令和4年3月28日 (書面決議)	<ul style="list-style-type: none">・報告事項 社会福祉法人指導監査結果報告 包括支援課職員の出向について・令和3年度補正予算議決・令和4年度事業計画、収支予算議決

エ 監査会開催状況

開催日	内容等
令和3年5月19日	<ul style="list-style-type: none">・令和2年度事業報告、収支計算書、貸借対照表及び財産目録の監査

オ 委員会の開催

①評議員選任・解任委員会

評議員を選任する評議員選任・解任委員会を開催し、評議員候補者について審議し、評議員39名を選任した。

- ・開催日 令和3年6月23日
- ・出席者 4人（委員3人、市社協1人）

(2) 規程の改正の状況

なし

(3) 役員、評議員の選任状況

ア 役員の選任

令和3年6月23日付

・理事 18人

田後良文、奥田 登、種田 進、中曾登志子、八幡廣子、手島仁美
足森雅巳、岩佐弘志、足立新治、松田史郎、杵築俊朗、足芝通秋
武良賢治、脇坂喜啓、村瀬 豊、角喜美江、遠藤良子、石原慎吾

・監事 2人

堀安宗威、松本 眞

イ 評議員の選任

令和3年6月23日付

・1号評議員 18人

橋本秀夫、清水典子、辻 敏郎、榎野祐治、谷村彰男、山本 保
矢倉検治、本池徳雪、安達 優、河田悦夫、佐藤幸人、谷上道夫
生田広実、横山賢治、武部 肇、王島 茂、長谷川晋也、渡辺睦夫

・2号評議員 12人

田村保之、平井道彦、新見博士、大畑 憲、福景順一、上田康則
西尾陸夫、田邊忠雄、永見修司、俵 俊一、戸田隆雄、渡辺和夫

・3号評議員 2人

廣江 仁、鎌田真治

・4号評議員 7人

小磯保弘、松村 寛、中村富士子、河本六美、黒田正勝、野津寛美
大橋賢二

(4) 苦情対応

苦情対応の体制整備のため、苦情解決第三者委員を設置し研修会へ参加した。

ア 苦情解決第三者委員

本池美由樹、松本 眞、鎌田真治

イ 研修会の参加

・福祉サービス苦情解決事業研修会

期日 令和4年3月4日～ オンライン開催

参加者 3人（市社協職員2人）

(5) 財政の健全化

自己財源確保を目指し、収益事業として始めた自動販売機設置事業が効果的な設置を行うことで増収となった。この収益は、各学校に図書を贈る活動など地域福祉事業の財源の一部として活用することができた。

また、香典返し寄付金の減少傾向に対して、寄付金税額控除について広報などにより寄付金についての周知に努めた。

福祉の地域づくり自動販売機の状況（令和4年3月31日現在）

区分	実績額（円）
販売手数料	1,399,026

会費の状況（令和4年3月31日現在）

区分		実績額（円）
一般会費	38,110世帯	22,866,000
団体会費	93件	465,000
賛助会費	154件	1,280,000

寄付金の状況（令和4年3月31日現在）

区分	実績額（円）
一般寄付	296,872
香典返し	7,505,200

(6) 情報公開

本会の事業内容、事業計画・予算書、事業報告・決算書について「よなご社協だより」及び本会ホームページに掲載した。

(7) 広報活動の実施

市民に対する福祉意識の啓発のために、広報活動として、会報を発行するとともに、ホームページによる情報発信、PR活動を行った。

ア 会報「よなご社協だより」の発行全戸配布

年4回発行 162号～165号

1回当たり発行部数 46,200部

イ ホームページによる情報発信

福祉サービスの内容、行事等随時更新し充実を図った。

(8) 人材育成

職員の能力向上と育成を目指し、長期的な人材育成のために鳥取県社協主催の階層的研修等に参加した。また、福祉人材の育成のため、社会福祉士等の養成のため実習生を受け入れた。

ア 福祉職員キャリアパス対応生涯研修

・開催日 令和3年8月～11月 8人参加

市町村社協新任職員研修

・開催日 令和3年5月、6月 1人参加

イ 実習生の受入れ

・社会福祉士養成実習 2人
・保健師養成実習 3人
・訪問看護師養成実習 4人
・在宅医療推進プログラム看護師養成実習 7人

(9) 大会の開催及び参加

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため大会やイベントの開催を中止した。

ア 米子市精霊会・流灯会（開催中止）

① 開催期日 令和3年8月16日

② 会場 米子市湊山公園

イ 県民総合福祉大会（書面開催・参加中止）

① 開催期日 令和3年8月18日

② 会場 米子コンベンションセンター

ウ 米子市福祉のつどい（開催中止）

① 会場 米子市民体育館、東山陸上競技場

エ 米子市社会福祉大会（開催中止）

① 開催期日 令和3年10月

② 会場 米子市公会堂

オ 米子市民余芸大会（開催中止）

① 開催期日 令和3年12月11日

② 会場 米子コンベンションセンター

(10) 顕彰の実施

本市における社会福祉事業の推進に功績のあった個人、団体に対し、表彰又は感謝状を贈呈した。

① 社会福祉事業表彰

1) 永年在職団体役員 24人
2) 永年在職民生児童委員 3人
3) 永年在職施設団体職員 57人

② 社会福祉事業感謝状

1) 社会福祉協議会役員功労者 3人
2) ボランティア団体 1団体
3) 永年在職在宅福祉員 59人

③ 在宅福祉員特別感謝状 8人

(11) 職員の衛生管理

職場の環境改善や職員の健康保持増進を図るため、衛生委員会を開催し、衛生に関する調査審議するとともに健康診断、ストレスチェック、研修を実施した。

ア 衛生委員会 毎月開催 年12回

イ メンタルヘルス研修会（県社協主催オンライン開催）

・開催日 令和3年10月19日 15人参加

ウ 健康診断 57人受診（10～12月）

ストレスチェック 57人受診（12月）

(12) 米子市社会福祉法人連絡会の開催

組織体制を強化するために規約を制定し、米子市社会福祉法人連絡会に名称を変更した。「地域お助けネットワークよなご」を開始するための準備として、各法人が行っている地域貢献活動に関する調査、取りまとめ、冊子作成等について事務局として支援を行った。

・役員会の開催（令和3年6月8日、7月13日、令和4年1月13日）

・総会の開催（令和3年8月13日書面決議、令和4年2月21日オンライン開催）

2 地域福祉事業

地域福祉活動の推進を目的に、地区社協等の地域活動団体や各関係機関に働きかけを行い、各種事業を実施した。またコミュニティワーカーが、様々な関係団体、行政との連携、協働を図りながら地域福祉の向上に資する活動を行った。

(1) 地域支援事業

ア 地域力強化推進事業（市全域）

コミュニティワーカーを配置し、各地区における地域福祉活動への協力、支援を行った。

イ 地域力強化推進事業（義方・啓成地区）

モデル地区内においてコミュニティワーカーを配置し、地域福祉活動の推進を支援するモデル事業を行った。

① 「福祉なんでも相談」の実施

モデル地区内の地域活動支援、福祉総合相談の受付、課題解決を目的に「福祉なんでも相談」を実施した。

・地域活動支援（義方） 実相談20件 延べ相談138件

・福祉総合相談（〃） 実相談11件 延べ相談89件

・地域活動支援（啓成） 実相談21件 延べ相談98件

・福祉総合相談（〃） 実相談13件 延べ相談13件

② 地域の居場所づくり・サロン運営支援関係

（義方）90件 （啓成）10件

③ 防災活動・支え愛マップの作成に関すること

（義方）17件 （啓成）5件

- ④ 「地域支え合い推進会議」に関すること
（義方）15件 （啓成）31件
- ⑤ 団体活動支援に関すること
（義方）6件 （啓成）54件
- ⑥ 自治会の課題に関すること
（義方）5件 （啓成）9件
- ⑦ 法人・企業との協働に関すること
（義方）11件 （啓成）5件
- ⑧ 補助金活用支援に関すること
（義方）6件 （啓成）2件
- ⑨ 学校・教育に関すること
（義方）11件 （啓成）11件

ウ 米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗管理

米子市と協働し、米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会の事務局を担い、計画の進捗管理を行った。また個別検討会を開催し、地域福祉活動推進に関わる協議を行った。

- ・推進委員会（令和3年7月6日、令和4年3月23日）
- ・個別検討会（令和3年10月29日、12月23日）

エ 地区版福祉のまちづくりプラン作成の推進

地区版福祉のまちづくりプランの作成を通じて、住民自身が地域課題を把握し、課題解決に向けた具体的な福祉活動を検討し取組むことにより、地域福祉活動の推進を実践した。また既に計画を作成された地区における進捗状況の確認、今後の取組みへの支援を行った。

地区	内容	回数
福生東	計画策定後の推進委員会、分科会への参加	16回
	計画で企画された活動の支援	10回
福生西	計画に関する打合せ、協議	9回
	計画策定後の推進委員会、分科会への参加	5回
	計画で企画された活動の支援	2回
加茂	計画に関する打合せ、協議、相談対応	6回
	地域福祉推進委員会、分科会への参加	2回
県	計画に関する打合せ、協議	8回
	地域福祉推進委員会、分科会の開催	16回
啓成	計画に関する打合せ、協議、説明	20回
	地域福祉推進委員会の開催	7回

オ 地域での福祉教育の推進

各地区が開催する研修会等に参加し、地域福祉について理解の促進、啓発活動を行った。

カ 地域立子どもの遊び場の支援

地域住民参加の団体に運営している遊び場を登録し、助成を行った。

地域立子どもの遊び場設置数 100施設（市社協登録施設）

キ 各公民館・自治連合会・民生児童委員協議会等との連携

地区内の各種関係団体と連携、協力しながら地域福祉の推進に向けた活動を実施した。

(2) 小地域ネットワーク事業

ア 在宅福祉員による見守り援助活動の推進

一人暮らし高齢者、高齢者世帯等を対象に、困りごとの早期発見や安否確認を目的とした在宅福祉員による見守り援助活動を行った。

・在宅福祉員数 767人

・見守り援助活動対象者数 4,245人

・見守り援助活動利用者数 3,031人（延べ利用者数25,367人）

・歳末見守り援助活動利用者数 3,492人

イ ふれあい・いきいきサロン活動の推進

日中閉じこもりがちな高齢者等が定期的に集うことにより、日中活動の充実や住民同士の繋がり、困りごとの早期発見を目的としたふれあい・いきいきサロン活動を支援した。

・ふれあい・いきいきサロン設置数 147サロン

ウ 支え愛マップづくり活動の推進

小地域（自治会域）において、災害時の要援助者避難支援や平常時の見守り体制構築を目的に作成する支え愛マップづくり活動について、市内各自治会に対して事業内容、作成手法等の説明会を実施するなど活動の支援を行った。

また、災害時における支え愛地域づくり推進事業について市内各自治会長をはじめ地域住民に周知し、災害時の支えあい活動における補助事業の活用啓発、申請相談及び支援を行った。

・支え愛マップの作成支援 28件

・補助金制度の説明、活用支援 30件

・関係者連絡会（県社協主催）への参加 2件

(3) 地区社協活動支援事業

ア 地区社協活動財源の支援

地区社協に対し補助金を交付し、地域福祉活動に対する支援を行った。

イ 地区社協への各種情報提供

県内で開催される研修会等の情報を地区社協に発信するとともに、地区社協

からの相談に応じ、適宜必要な情報提供を行った。

ウ 米子市地区社会福祉協議会長連絡会の事務局運営

米子市地区社会福祉協議会長連絡会の運営に協力するとともに、地域福祉活動の支援、協働を推進した。新型コロナウイルス感染防止のため、1回は書面決議を行い、2回は中止とした。

- ・書面決議（令和3年5月）
- ・米子市地区社会福祉協議会長連絡会（令和3年12月6日）

エ 米子市在宅福祉員代表者連絡会の事務局運営

米子市在宅福祉員代表者連絡会の運営に協力するとともに、在宅福祉員活動の支援、協働を推進した。新型コロナウイルス感染防止のため、合同研修会は中止とした。

- ・在宅福祉員代表者連絡会（令和3年6月28日）
- ・在宅福祉員代表者連絡会 正副会長会（令和3年6月21日、10月29日）

3 生活支援・総合相談事業

(1) 生活困窮者自立支援事業

ア 自立相談支援事業

経済的かつ社会的困窮状態にある方に対して、包括的かつ継続的な相談支援、同行支援、求職活動の支援、自立支援計画の作成等を実施した。昨年度はコロナ特例貸付の影響により一時的に相談件数が著しく増加したが、今年度はコロナ貸付が落ち着いたために相談件数が半減した。

プラン作成件数についてプラン件数のカウント方法を見直し、事務の体制を強化したためプラン件数が大幅に増えた。相談者の状況に基づくアセスメントから必要に応じた他機関への同行支援等を行い、かつネットワークを活用することによって、昨年度と比較し、他制度の利用や他機関へ繋いだ件数が大幅に増加した。

近年、相談内容が多問題かつ複雑化していることが特徴であり、より高い専門性と情報量が他機関との連携が求められている。

相談の状況

(件)

	3年度	昨年度
新規相談受付件数	747	(1526)
新規申込受付件数（本人同意有）	156	(403)
情報提供のみで終了件数	157	(18)
他機関へのつなぎで終了件数	584	(6)
プラン作成件数	435	(28)

プラン作成評価の状況 (件)

	3年度	昨年度
評価実施件数	35	(27)
終結件数	22	(22)
見られた変化あり	28	(26)
一般就労開始	7	(6)
就労収入が増加	8	(7)

支援調整会議の開催

情報共有と支援プランの適正性の確認および評価を行う。また関係機関と協議することで支援の質を確保する。毎月第2水曜日開催、合計12回開催した。

(2) フードパートナー事業

緊急的かつ一時的に食事の確保に困るほど生活に困窮している世帯に対して、生活に必要な食料等を提供する生活再建に向けた支援を行った。保護受給者への支援が増加している。

支援対象世帯の状況 (件)

	3年度	昨年度
一般	12	(12)
貸付申請中	8	(8)
生活保護申請中	6	(7)
生活保護受給中	10	(3)
合計	36	(30)

支援対象世帯の人数内訳

世帯	3年度	昨年度
単身	22	(21)
2人	8	(6)
3人以上	6	(3)
合計	36	(30)

食品・食材提供者 (令和4年3月31日現在)

登録者	26件	(17件)
-----	-----	-------

(3) えんくるり事業による経済的支援（現物給付）

既存の制度では対応できない、または緊急を要する場合の一時的な支援として、現物給付による経済的支援を実施した。

（昨年度）

支援件数	10件（4件）
------	---------

(4) 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）

日常生活に不安を抱えている高齢者や障がい者（知的・精神障がい）の方等を対象に、福祉サービスの利用援助とそれに伴う日常的な金銭管理、書類等預かりサービス等を実施した。自立や成年後見制度の移行等により利用者数が減少した。

① 現在利用者数（人）（令和4年3月31日現在）上段：3年度 下段：昨年度

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	生活保護（再掲）	合計
35 (46)	21 (25)	14 (14)	0 (0)	28 (36)	70 (85)

② 新規契約・解約件数（件）

高齢者		知的障がい者		精神障がい者		その他		合計	
新規	解約	新規	解約	新規	解約	新規	解約	新規	解約
1	11	0	4	1	2	0	0	2	17

③ 相談援助件数（件）

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
1794 (954)	1172 (628)	1141 (835)	3 (3)	4110 (2420)

④ 内部審査会の開催

契約締結審査会の審査前に内部での審査会を開催し、契約の適正性の確認と支援プランの評価を行った。毎月第2月曜日開催、合計12回開催した。

(5) ふれあい総合相談事業の実施

日常生活の悩みや心配ごとについて、よなご暮らしサポートセンター職員が相談に応じる一般相談を実施した。

相談の開設状況

相談種類	開設日	日数	相談延件数
一般相談 (電話相談含む)	月～金曜日 (祝日及び年末年始の休日は除く) 午前9時～午後5時		49件 (昨年度105件)

相談取扱件数及び内容（複合的な相談内容のため件数と内訳は一致しない）

（）内は昨年度実績

相談者延件数	49件 (105件)		
相談分類	件数(件)	相談分類	件数(件)
生計	4(4)	法律	8(45)
年金	1(0)	財産	3(16)
職業・生業	0(2)	事故	0(4)
住宅・土地	9(18)	児童福祉	1(1)
家族	14(9)	障害者(児)福祉	5(9)
結婚・離婚	2(12)	母子福祉・父子福祉	0(1)
債権・債務	1(7)	高齢者福祉	16(21)
健康・保健・医療	14(7)	苦情	10(11)
教育・青少年	0(0)	その他	11(23)
		合計	99 (190)

(6) 資金の貸付

ア 生活福祉資金の貸付

低所得者世帯、高齢者世帯、障がい者世帯を対象に、必要な相談支援ならびに安定した生活を送るための資金の貸付を行った。昨年度はコロナ禍によるコロナ貸付が著しい増加が見られたが、今年度は貸付件数が減少している。

新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付が令和2年3月23日より開始され2年が経過したため、利用が進んでいる。令和4年6月末（令和4年3月末現在）まで申請受付となった。

資金別貸付件数及び金額

資金の種類	貸付件数(件)	貸付金額(円)
福祉資金(福祉費)	2	2,547,000
緊急小口資金	11	1,070,000
教育支援資金	1	216,000
臨時特例つなぎ資金	1	100,000
総合支援資金	24	7,513,139
小計	39	11,446,139
緊急小口資金 (コロナ特例貸付)	555	104,640,000
総合支援資金 初回 (コロナ特例貸付)	592	316,880,000

総合支援資金 延長 (コロナ特例貸付)	163	88,500,000
総合支援資金 再貸付 (コロナ特例貸付)	629	339,220,000
小計	1939	849,240,000
総合計	1978	860,686,139

イ たすけあい金行の貸付状況

生活保護申請中の世帯を対象に、生活保護が決定される間で、第1回目の生活保護費が支給される日までの生活費として貸付を行った。

資金の種類	貸付件数 (件)	貸付金額 (円)
一時貸付		
20,000円 (1～2人世帯)	38	760,000
30,000円 (3人以上世帯)	4	120,000
合計	42	880,000

4 ボランティア活動、福祉教育の推進

(1) ボランティア活動の推進

ボランティア活動の拠点として、市民のボランティアに対する理解と関心を深め、活動に必要な情報収集、また各種講座の開催等を行うことでボランティアの育成、支援を図った。

ア 米子市ボランティアセンターへのボランティア登録状況

登録団体について、更新の手続き及び活動状況の調査を行った。

登録ボランティア団体	86団体、2,806人
登録個人ボランティア	362人

イ 米子市ボランティアセンターへの相談状況

新型コロナウイルス感染防止のため、介護施設等からのボランティア依頼は減少したが、イベントへの依頼により、相談及びコーディネートの件数は増加した。

区 分	件数・人数
新規登録[個人、団体]	個人9人、 団体3
依頼件数[要請・お願い]	18件
相談件数[助言・情報提供]* ()内は介護支援ボランティアの状況	221件、(34)件
コーディネート*()内は介護支援ボランティアの状況	44件、(2)件
その他相談等[保険・部屋利用等]	225件

ウ ボランティア講座・研修会の開催

新規事業として、ボランティアを始めたい人等を対象に、「ボランティア入門講座」を5回開催した。またサロン世話人の方等を対象に、「レクリエーション講座」を4回開催した。

① ボランティア入門講座

	開催日	講座内容	受講者 (人)	場所
1	6月25日 (金)	『ボランティア活動とは』 ・ボランティアの心構え ・米子市での活動紹介 講師：米子市ボランティアセンター 定常有紗	7	ふれあいの 里
2	8月27日 (金)	『ボランティア活動とは』 ・ボランティアの心構え ・米子市での活動紹介 講師：米子市ボランティアセンター 原久子	8	
3	10月22日 (金)	『災害時、自分にはどんなことができるの?』 ・ボランティアの心得 ・災害ボランティアセンターの役割やしくみ 講師：日野ボランティア・ネットワーク 森本智喜さん	14	
4	12月17日 (金)	『ボランティア活動とは』 ・ボランティアの心構え ・米子市での活動紹介 講師：米子市ボランティアセンター 原久子	3	
5	令和4年 2月25日 (金)	『ボランティア活動とは』 ・ボランティアの心構え ・米子市での活動紹介 講師：米子市ボランティアセンター 定常有紗	2	
合計			34	

② レクリエーション講座

	開催日	講座内容	受講者 (人)	場所
1	11月8日 (月)	『チェアヨガや歌リズム歌体操をやってみよう!』 講師：みのかや運動処よらいや NESTA パーソナルフィットネス トレーナー 大島雅子さん	15	ふれあいの 里

2	11月15日 (月)	『暮らしの中の折り紙』 講師：福祉レクリエーションワーカー 日本折紙協会 折紙講師 黒田祥男さん	10	ふれあいの 里
3	11月22日 (月)	『チェアヨガや歌リズム歌体操をやってみよう！』 講師：みのかや運動処よらいや NESTA パーソナルフィットネス トレーナー 大島雅子さん	15	
4	11月29日 (月)	『暮らしの中の折り紙』 講師：福祉レクリエーションワーカー 日本折紙協会 折紙講師 黒田祥男さん	8	
合計			48	

③ 「ミニぼらんていあ祭」米子市ボランティア協議会と共催

11月に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染予防のため中止とした。

エ ボランティア活動保険加入の受付

① ボランティア活動保険

ボランティア活動中におこる事故を補償する保険。高校生ボランティア体験事業は、新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。

加入受付件数 77 件

区 分	加入者数 (人)	備考
在宅福祉員	779	補助金 @350
高校生 (ボランティア体験事業)	0	補助金 @500
個人ボランティア	1,118	
総計	1,897	

② ボランティア行事用保険

本会をはじめ、その構成員や会員である団体、グループなどが主催する様々な行事に対する総合補償制度の受付を行った。

加入受付件数 36 件

③ 事故発生件数

ケガの補償1件及び賠償責任保険1件の事故が発生し対応した。

取扱件数 2 件

オ 米子市ボランティアセンター会議室の利用状況

貸室については、新型コロナウイルス感染防止のため利用が減少した。

部屋別利用状況 (開所日数：308日)

	ボランティア室	録音室	研修室 1	研修室 2	録音録画室	合計
件数	196	0	272	159	209	836
人数	1,493	0	2,823	1,861	603	6,780

利用目的種別状況

	会議	学習会	作業	録音	録画	その他	合計
件数	220	308	5	209	0	94	836
人数	2,452	3,027	23	603	0	675	6,780

カ ボランティア器材の貸出し

新たにデジタル印刷機の管理を行った。

器材名	件数
アイマスク	0
ボランティア関連書籍	10
移動式スクリーン	0
デジタル印刷機	61

キ 広報活動・情報提供

① 情報誌「ぼらんていあ情報」の発行（米子市ボランティア協議会共同発行）

年6回（偶数月）1回当たり2,200部を発行し、ボランティアグループ、市役所、公民館、社会福祉施設、学校、病院、銀行等に配布した。また市社協ホームページにも掲載した。

② ボランティア情報掲示板の設置

ボランティアセンターに掲示板を設置し、ボランティア募集、ボランティアに関するイベント、講座開催等の情報提供を行った。

③市社協ホームページの活用

市社協のホームページ上にて、ボランティア募集、ボランティアに関するイベント・講座等の情報提供を行った。

ク 情報収集

各関係機関及びボランティアグループ等に対し、ボランティア受入れについて調査を実施した。

ケ ボランティア体験事業

鳥取県社会福祉協議会との共催事業。新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。

コ 米子市介護支援ボランティア事業（米子市受託事業）

登録人数 53人（事業受入協力 68施設）

サ 障がい者との交流事業

米子市、米子市ボランティア協議会との共催事業「米子市福祉のつどい」を開催の予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。

シ 米子市ボランティア協議会の事務局及び運営協力

ス 災害ボランティアセンター

災害ボランティアセンターの設置、運営方法等についての情報収集を行った。また下記のとおり協定の締結を行い、災害時におけるセンター運営の協力体制を関係機関と構築した。

・米子市、米子青年会議所、米子市社会福祉協議会の3者において「災害時における協力体制に関する協定」の締結を行った。

協定締結式 令和3年10月5日

・米子市、米子市社会福祉協議会の2者において「災害ボランティアセンターの設置及び運営に対する協力に関する協定」の締結を行った。

協定締結式 令和4年2月14日

(2) 学校での福祉教育の推進

ア 福祉教育推進校指定

福祉の心が家庭・地域・学校などで体験的に培われるよう、市内36全小・中・特別支援学校を福祉教育推進校に指定して、児童生徒に対する福祉教育の推進を図るため、1校30,000円の助成を行った。

・福祉教育推進校育成助成状況

区 分	育 成 助 成 (校)
小 学 校	23
中 学 校	11
特別支援学校	2
計	36

イ 福祉教育推進研究協議会の開催

新型コロナウイルス感染防止のため、小中学校校長会にて事業説明、協議を実施した。

ウ 福祉教育実践記録集の発行、配布

各学校の福祉教育に関わる取組みをまとめた福祉教育実践記録集を発行し、各学校、関係機関へ配布した。

エ 図書贈呈事業

自動販売機の収益を使い、児童・生徒が本に親しみ、感性と創造力を豊かに育む目的で小中学校に図書を贈呈した。

・実績額 5校 123,604円

・図書贈呈状況

区 分	贈呈校 (校)	
小 学 校	3	尚徳小、彦名小、和田小
中 学 校	3	弓ヶ浜中、加茂中

5 地域包括支援センター運営事業

担当地区（啓成、車尾、福生東、福生西、福米東、福米西）

令和3年度もコロナ禍が続いたが、地域活動への積極的参加は継続した。地域での活動の機会を増やすことで、新しい課題の発見や困りごとを抱えた方の早期発見につながった。

地域のネットワーク構築に関する業務について、病院の面会制限などにより、入退院支援について課題を感じ、急遽市内にある基幹病院と連携会議開催について取り組んだ。また、介護支援専門員・民生児童委員・薬剤師で地域の高齢者支援について考える場として、地域ケア推進会議を各中学校区で開催できたことは、参加者からも有意義であったと高評価をいただいた。

ア 総合相談・権利擁護業務実績

高齢者の総合相談窓口として、介護・保険・医療・暮らし等に関し様々な困りごとに対応している。コロナ禍により、他者との交流が減ったことに起因した虐待案件の相談が続いた。鳥取県特別警報の発令により、訪問を断られるケースも多かった。また、県外から帰省された家族の来所も引き続き多かった。

（）内は昨年度実績

相談件数（延べ件数）			
電話	訪問	来所	合計
33,908 (30,453)	9,764 (10,487)	1,368 (1,107)	45,040 (42,047)

* 担当地区以外からの相談件数 183件（201件）

（）内は昨年度実績

相談内容（延べ件数）								
介護保険サービス	地域支援事業 （介護予防）	医療	認知症	介護離職	その他福祉	権利擁護関係	その他	合計
27,847 (26,918)	4,693 (4,748)	1,174	386	24	928	105 (243)	1,542 (519)	35,212 (34,136)

イ 介護予防ケアマネジメント業務実績（延べ件数）

予防給付は、要支援認定者の介護保険利用件数、予防事業は、総合事業の利用件数となっている。新規利用者の実人数は263人と昨年より24人減だった。

（）内は昨年度実績

予防給付	予防事業	合計
7,323 (6,809)	747 (718)	8,070 (7,527)

ウ 地域におけるネットワーク構築業務実績（延べ件数）

地区担当職員を中心に地域活動に参加し、地域支援ネットワーク構築に努めた。鳥取県特別警報の発令により、年度途中で中断したが、今年度も在宅福祉員の見守り活動の同行訪問により実態把握を強化した。

（）内は昨年度実績

地域ニーズの把握・啓発・ネットワーク構築	実態把握	地域ケア会議	地域密着運営推進会議
297 (330)	645 (605)	55 (29)	52 (68)

エ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務実績（延べ件数・回数）

包括的・継続的なケア体制の構築業務・地域におけるケアマネジャーのネットワークの形成業務は、引き続き居宅介護支援事業所連絡会を軸として進めている。介護支援専門員からの相談対応や地域・医療との連携のための研修会を継続している。

コロナ禍により、ITを活用した研修会にも慣れたが、集合研修で行なっている事例検討会は今年度開催できなかった。

（）内は昨年度実績

ケアマネ個別支援（件）	研修会・他機関との連携会議（回）	居宅連絡会（研修会・事例検討）（回）
690 (803)	432 (314)	9 (6)

オ 地域支援体制構築

介護予防地区講座支援では、公民館の講座で介護予防に関する情報提供を行った。サロン活動を中止される地区が多く、その中でも感染対策を取りながら支援を継続した。認知症理解啓発事業も、小学校での絵本教室やタッチパネルを使用した物忘れ検診は、実施できなかった。

（）内は昨年度実績

介護予防地区講座支援（回）	サロン支援（回）	認知症理解啓発事業（回）	タッチパネル式物忘れ簡易健診（人）
31 (22)	20 (40)	1 (1)	25 (25)

カ 緊急通報受信実績

緊急通報装置付き電話を設置している高齢者の電話対応をしている。電話を設置されている高齢者宅を年に一度訪問し、実態把握を行っている。

（）内は昨年度実績

受信件数	0件(3)
------	-------

キ 実習生受け入れ

地域で活躍される福祉・医療の人材育成を支援している。今年度も、コロナ感染者の発生状況により実習受け入れが出来ない時期もあった。医療センターの実習は、昨年につき、講義と学内実習の支援を行った。鳥取看護大学については、オンラインでのオリエンテーションと質疑応答により対応した。

()内は昨年度実績

米子北高等学校(人)	鳥取大学(人)	訪問看護師養成(人)	T-HOC実習(人)	合計(人)
2 (2)	3 (3)	4 (2)	7 (6)	16 (13)

6 米子ファミリー・サポート・センター運営事業

地域の子育て支援を図るため、育児の援助を行いたい者（援助・両方会員）と受けたい者（依頼・両方会員）を会員として組織化し、アドバイザーが仲介し、会員相互の育児支援活動を行った。

広報活動や援助活動の調整及び各種講習会や会員交流会を開催した。また他のファミリー・サポート・センターや関係機関との連絡調整を行った。

ア 会員数（令和4年3月31日現在）

依頼会員	842人
援助会員	225人
両方会員	26人
合計	1,093人

イ 研修・会合開催状況

- ① アドバイザーとサブリーダーの連絡会を年間8回行った。（新型コロナウイルス感染防止のため2～3月は中止）
- ② 依頼会員の登録説明会を年間83回実施した（うち日曜開催1回）。コロナ感染防止のために依頼会員登録説明会を個別対応し、随時受付した。また諸事情により来所できない方に対し、自宅や子育て支援センター等に訪問し依頼会員登録説明を行った。
- ③ 安心安全な子どもの預かりを行うため、「普通救命講習」や「子どもの心と体の発達とその問題点」など、2日間で合計10時間程度の『援助会員養成講習会』を年間2回実施した。
- ④ 既存の援助・両方会員を対象にした事故防止に関する講習会『救急救命講習会』は、新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。
- ⑤ フォローアップ講習会では、「事故を起こさない」「事故に遭わない」ために、安全運転講義や運転適性検査、安全運転実技などの交通安全教室を米子自動車学校にて実施した。

- ⑥ 会員同士の交流を図るために『会員交流会』として「しめ縄作り」を行った。
新型コロナウイルス感染防止のため7月は中止とした。

内 容	開催数 (回)	会員登録者 実数 (人)	参加者数	
			延べ人 数 (人)	備 考
アドバイザー、サブリーダー連絡調整会	8		89	
依頼会員登録説明会	83	82	127	・入会辞退者1名 ・家族(会員の子ども等) 同席者も含む
援助会員養成講習会	2	援助会員11 両方会員0	57	講師も含む
救急救命講習会	0		0	新型コロナウイルス感染 防止のため中止
フォローアップ講習会	1		18	
会員交流会	1		37	講師、会員の家族及び子 どもを含む
合 計	95	93	328	

ウ 活動状況について

「子供の習い事に伴う送迎」を中心に、年間2,203回の活動が行われた。

内 容	回数(回)
学校の登校前、保育所・幼稚園の登園前の預かり	43
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	219
学校・保育所・幼稚園の送り	148
保育所・幼稚園の迎え	309
放課後児童クラブ終了後の預かり	20
学校の放課後の迎え	22
学校の放課後の預かり	18
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子供の学校行事の場合の援助	0
保護者等の外出の場合の援助	170
放課後児童クラブの迎え	22
子供の習い事に伴う送迎	842
子供の習い事に伴う預かり	0

保育所・学校等休みに伴う送迎	3
保育所・学校等休みに伴う預かり	3
保護者の就労（短期・臨時・求職活動等）の場合の援助	348
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	0
子供の病気時の援助	1
その他	35
合 計	2,203

エ 広報活動について

- ・年間2回会報誌を作成し、会員、子育て支援センター、全国ファミリー・サポート・センター（約100か所）、他関係機関に配布し広報活動に努めた。
- ・米子市内の子育て支援センター（3か所）に来所の保護者に事業説明を行った。
- ・地域の子育てサークル活動に出向き事業説明を行った。

発行月	会報誌名	発行部数（部）
令和3年6月	よなごファミリー・サポート・センター Vol. 23	1,500
令和3年11月	ふれあい令和3年11月号	1,500

7 福祉バス運行事業

地区社会福祉協議会を始め市内の福祉団体、老人クラブ等の登録会員の地域社会交流、研修及び社会参加の促進を図るため、福祉バスの運行を実施した。

令和2、3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、運行を中止することがあり、回数が減少した。運行にあたっては、検温やアルコール消毒、利用定員を縮小する等の対策を行った。

ア 老人福祉バスの運行状況

利用回数（回）	利用延人数（人）
73	588

イ 福祉バスの運行状況

利用回数（回）	利用延人数（人）
61	556

8 福祉団体等への支援・協力

（1）募金団体の事務局運営

福祉に関係のある募金団体の事務局運営を行い、募金運動に協力した。

- ①鳥取県共同募金会米子市共同募金委員会
- ②日本赤十字社鳥取県支部米子市地区
- ③米子地区更生保護協力会

(2) 福祉団体の事務局運営と活動への支援

福祉団体の事務局運営を行うとともに、自主活動化の支援を行った。また、福祉団体及び協力団体等の活動に対し助成を行った。

ア 福祉団体の事務局運営及び活動助成 9 団体

- ①米子市老人クラブ連合会
- ②米子市肢体不自由児者父母の会
- ③米子市手をつなぐ育成会
- ④米子市身体障害者福祉協会
- ⑤米子市連合母子会
- ⑥米子市戦歿者遺族会
- ⑦米子更生保護女性会
- ⑧米子市地区社会福祉協議会長連絡会
- ⑨米子市ボランティア協議会

イ 福祉団体等の活動助成 5 団体

- ①米子市民生児童委員協議会
- ②米子市連合婦人会
- ③鳥取県視覚障害者福祉協会西部支部
- ④米子保護区保護司会
- ⑤青少年育成米子市民会議

ウ 協力団体活動助成 1 団体

- ①米子市自治連合会

9 介護事業

(1) よどえ通所介護事業所

「できる限り住み慣れた地域で暮らし続けることを支える」という観点から、地域が必要としているサービスが実施できるように努めてきた。

要介護度の重度の方を積極的に受け入れ、地域住民、近隣の地域包括支援センター、居宅介護支援事業所などから信頼を得ていたが、収支を継続して改善することができず、令和4年3月31日をもって事業終了した。

よどえ通所介護事業所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険利用回数 (回)	436	435	410	417	446	413	428	430	382	352	327	198	4,674
介護予防利用回数 (回)	43	33	47	47	40	42	50	50	39	38	39	37	505